

思いやりの町 ～「気づき」の部～

グループ活動 20分

【学習のねらい】

「思いやりの町ワークシート」を見て、町の中で起こっていることについて、「思いやり」という観点で話し合い、人権問題だと気づいたり、指摘したりすることができる。

【準備するもの】

思いやりの町ワークシート（人権問題イラスト入り）、

【進め方】

- (1) アイスブレイキングをして8人グループをつくる。
- (2) 各自に1枚ずつ「思いやりの町ワークシート（人権問題イラスト入り）」を配る。
- (3) 個人で人権問題だと考えられるもの、あるいは人権問題につながると思われるもの、人権の観点で気になることをチェックしてもらう。
- (4) グループ内で個人のチェックしたものを発表しあい、グループの提案をまとめる。
- (5) 各グループで話題になったことを発表する。
- (6) 学習全体のまとめをする。

【「思いやりの町」で参加者から指摘されそうなこと】

- ・コンビニ前で地べたにすわっている若者
- ・目の不自由な人が点字ブロック上を歩いているが、スクーターが置いてあり、このままだと通れない。
- ・歩道や点字ブロックの上に自動車が置かれている。
- ・公園のベンチへの落書き
- ・空き缶のポイ捨て
- ・公園で一人の子がいじめられている。
- ・公園でのゴミの散乱
- ・子どもを抱いた母親が歩道を通りたいと思っているが…。
- ・喫茶店の出入口が階段になっている。
- ・店の出入口が自動ドアになっていない。
- ・手前の歩道に点字ブロックが設置されていない。
- ・歩道がせまく、車椅子では通れないかもしれない。

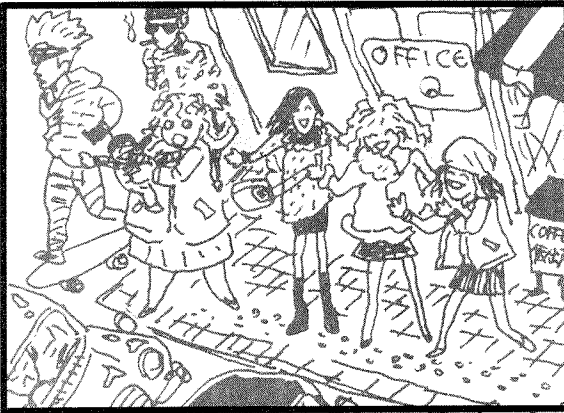
1

2

3

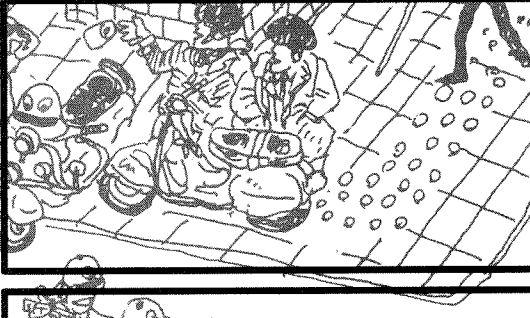
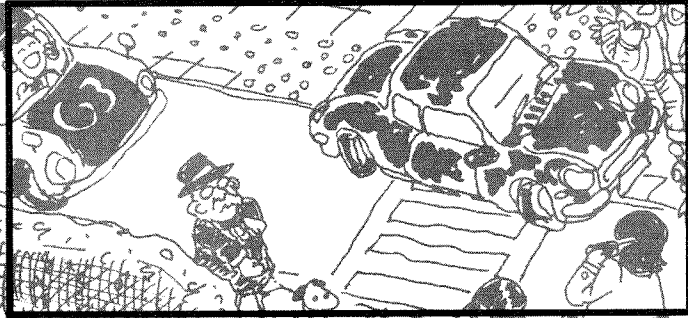
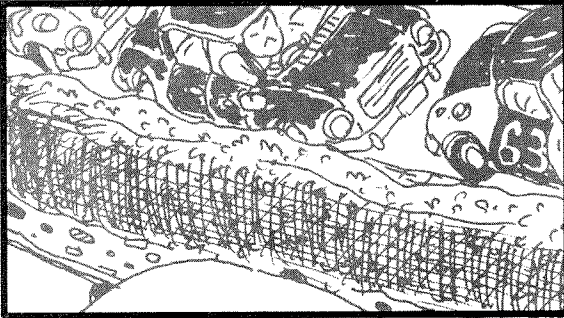
A

A



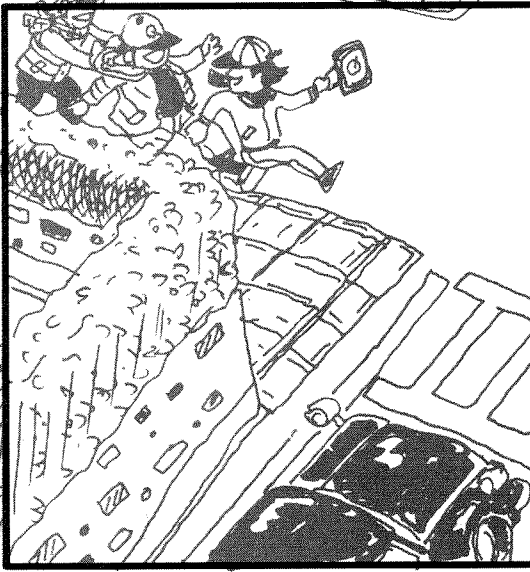
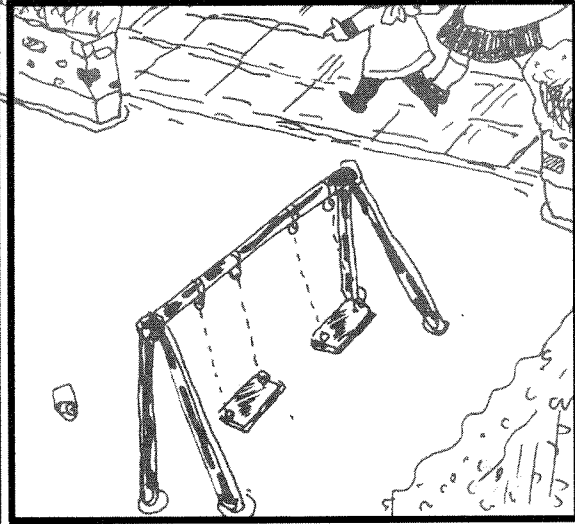
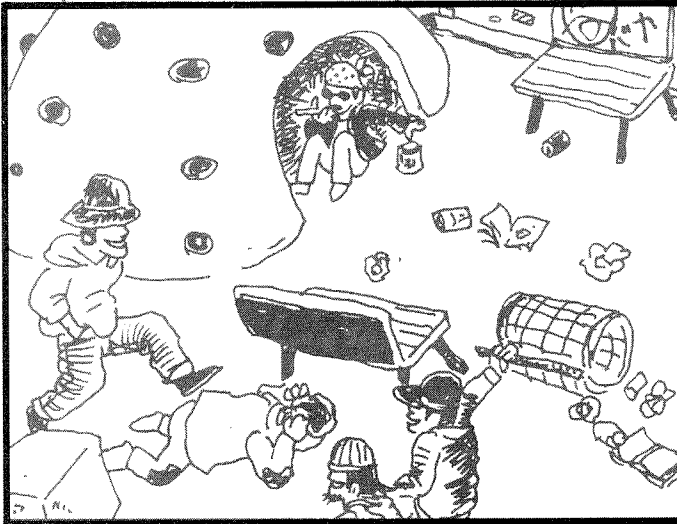
B

B



C

C



1

2

3

思いやりの町 ワークシート